

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員間で現状に即した理念の検討や職員周知しやすい環境が整っていない。	職員個々が理念を理解することができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 職員の目に付きやすい場所に理念を掲示する。 ※現在はA4用紙を掲示しているがA3用紙数枚を用いて掲示する。 朝礼の在り方を検討し朝礼で理念を唱和する。 月1回開催される全体会議で理念について学ぶ時間を設ける。 	3ヶ月
2	2	地域の方も参加できるホーム行事の開催など、地域の方がホームへ足を運びやすい取り組みができていない。	地域の方が施設に興味を持ち来所(見学含め)してくれるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターが開催している介護者のつどいを当施設で行ってもらう。 パンフレットを作成し地域包括支援センターに設置させてもらい来庁の方に自由に取ってもらう。 地域の方(区長等)を運営推進委員に任命し地域の方との連携を図っていく。 運営推進委員会の開催時に地域行事の確認や施設で実施する行事を報告する。 新年会、敬老会等の施設で行事を行う際は案内を作成し近隣の住民へ配布する。 	6ヶ月
3	4	運営推進委員会の内容を職員へ周知ができていない。また出えた意見を運営に活かせるような取り組みが行えていない。	運営推進委員会への理解や興味を持つことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進委員会を開催するときは各セクションから1名以上は出席してもらう。 運営推進委員会に出席する職員は各セクション内で出た意見等を委員会前日までに施設長に報告する。 運営推進委員会で各セクションから出た意見を報告する時間を設定する。 運営推進委員会終了後に会議録を回覧し全職員に内容を把握してもらい押印してもらう。 セクション会議で運営推進委員会の内容を検討する。 	6ヶ月
4	35	夜間想定を含めた非常災害等の訓練の実施や地域の方が参加しやすい環境が整えていない。	夜間を想定した消防訓練を実施することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進委員会時に夜間を想定した消防訓練を実施する。 消防訓練を行い際は運営推進委員会の開催に合わせて消防署・ホーチキ佐賀に来所を依頼する。 	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。